

こんにちは

# 会社訪問記

最終処分場を確保して  
産業廃棄物の適正処理トライ。

## 株式会社 シミズ

(名古屋市南区)

最終処分場業者として協会内で知られる株式会社シミズ。昨年12月に開設したばかりの管理型処分場に伺い、木村取締役営業部長にお話をお聞きました。

— この処分場は開設したばかりと聞きましたが、木村取締役営業部長(以下木村に略)『昨年の12月に許可をいただいて管理型処分場を開設しました。当社は収集運搬から中間処理、最終処分まで一貫して産業廃棄物に取り組んでまいりましたが、主力は処分場の開発・運営です。最終処分場の開設が困難なこの時期に、新規施設ができたことを従業員一同喜んでいきます。』



木村取締役営業部長

— どれくらいの規模の処分場ですか。また埋立期間はいつごろまでを予定されていますか。木村『総容積62万m<sup>3</sup>です。現在、第1期の埋立を行っているところです。埋立期間は5年を予定していますが、コンパクターなどを導入し転圧をきめ細かくかけ、ガラスくず及び陶磁器くずなどでも細かく粉碎し、できる限り延命化を図っています。また、この処分場は安定型の品目も処分可能な体制を整えていますので、比較的早めに埋立が完了してしまう可能性もあります。そうならないように、現在この管理型とは別に安定型処分場も設置しようと努力しているところです。来年をめどに許可を取得できればと考えています。』

— そうなった場合、さうとう大きな処分場が出現することになりますね。

木村『構想では、総容積80万m<sup>3</sup>台の規模を目標にしています。』

— 処分場の設置では、特に地元住民の方々の承諾を得るには大変ご苦労をされたと思いますが。



社名/株式会社シミズ 所在地/名古屋市南区神松町3丁目5番地の6  
代表者/清水善一 創業/昭和38年 従業員/80名 TEL/052(612)1490  
事業所/本社、新川町支店、長浜出張所、最終処分場  
営業種別/収集運搬、中間処理、最終処分  
取扱品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、  
動植物性残渣、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、ダスト  
類、引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性腐アルカリ、感染性産業廃棄物、特  
定有害廃油

木村『確かに、一番苦労したのは地元住民の方々から承諾を得ることですね。折衝に長い期間をかけました。この処分場がある小牧地区において、行政の方々にご協力をしていただき協定書をつくり処分場開設にたどり着いたのは当社が初めてということです。何を行うにしても、信頼関係が重要だとつくづく思いますね。』

— 最後に、行政がバックアップして開設された処分場ということですが、それに対する意気ごみを聞かせていただけませんか。

木村『愛知県の産業廃棄物処分場のモデルとなるように心がけ、しっかりと運営していきたいですね。正規の処分場はこうあるべきという誇りを持つて。』



処分場